

S1. 「ブルーカーボン生態系の増殖技術」

脱炭素社会への取り組みが加速するなか、沿岸域における温暖化緩和策として CO₂の吸収源対策であるブルーカーボンが注目されています。ブルーカーボンを促進するためには、海藻・海藻等のブルーカーボン生態系を増やすことが鍵となります。しかし、富栄養化した海域では、光量不足や有機物の堆積による海藻の着生基盤の劣化が課題となっています。また、富栄養化していない海域でも、食害や栄養塩不足等が課題となっています。加えて、温暖化に伴い、水温上昇や在来種以外の新たな食害生物の対策が、今後ますます必要になると考えられます。これらの課題に対して、有機物が堆積し難い被覆ブロック、食害を防ぐブロック形状、海藻の着底を促すブロック形状や表面形状、海藻の成長を促す構造物の材質など様々な技術開発が、港湾、漁港、海岸だけでなく洋上風力発電施設等において検討されています。

そこで、昨年に引き続き本セッションでは、ブルーカーボン生態系の中で藻場に着目し、工学的な視点から藻場の増殖技術について、幅広い議論を行いたいと考えています。今年は「報告」の投稿区分を新たに設けています。公表されていない貴重な調査・実験データを公表する機会として活用して下さい。皆様の技術開発の成果を歓迎します。